



# 日本の緑化事情 / 緑化で地球温暖化が改善する？

東京都面積の約半分を緑化で覆うと、東京都の平均気温は4度下がるという研究発表がある。全ての人や企業が少しづつ緑化に貢献すると、気温を下げるくらいの効果は見込めるといふことである。

全ての場所に緑化を施すことは困難ですが、緑化可能なスペースは相当数あります。それらに手軽に手頃に緑化を施せるのは、弊社がご提供している薄層屋上緑化のVUS500です。

パレットを並べるだけです。簡単に施工できます。産学協同で開発した軽量土のお陰で、相当数を敷き詰めると建物への影響を最大限抑える事が可能です。

植物も3〜5種類混ぜてあるので、気候や条件に合わせても、全てが枯渇するというのを防ぐ工夫もなされています。もちろん台風などでの強風対策も可能です。

一件の建物にVUS500を40枚敷き詰めれば10㎡の緑化が実現でき

きます。わずか10㎡ですが、これを1万件規模でおこなえば、10万㎡の緑化の誕生です。東京ドームの倍以上の面積になります。

しかしそれでも東京ドーム2個分です。東京都面積の半分には程遠いものです。

どれくらい大がかりな規模でおこなわないといけないのかと実感いただけるかも知れません。私達が日々消費するために排出される二酸化炭素。それを効率よく削減できるのは緑化。途方もない面積が必要ですが、一人の心がけでおこなえば、無理では無いと思います。

樹木を植栽するとすると、途方も無い事ですが、VUS500のようなパレットなら手軽な緑化が出来るので、地球規模での緑化に貢献できるよ。これからは緑化製品を販売し続けていきたいと思えます。

## 大日製品現場レポート

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



ビッグサン防水材は40年以上、改修の現場でご使用いただき活躍させていただいております。「水系の材料で有機溶剤を材料中に含んでおらず臭気心配もなく、居住者や作業者に安全な材料である。」「コンクリート、モルタル、ウレタン、ゴムシート、塩ビシートFRPなど、様々な既存下地と良好な接着性を有している。」「大きな機械や複雑な作業の必要もなく、騒音などによる施工中のトラブルに発展しにくい」等の特長から様々な用途・箇所でご採用頂いております。

今回は、このビッグサン防水材を採用して頂いた事例の一つをご紹介します。ご紹介したいと思っております。

**東京都墨田区某小学校屋上プール水槽取替その他工事**

採用頂いた現場は、小学校の屋上部分でプール水槽の取替工事に付随した、プール水槽廻りの配管ビット部分（下地はコンク

リート）約32槽とプール水槽下の部分（既存防水下地はアスファルト防水）になります。

元々は、公共建築工事標準仕様書に定められたウレタン防水のX2工法が設計仕様となっていました。小規模のビットが多数ある環境のため臭気や作業面を考慮する必要があり、また予算面に加えて、工期が短いとのことで、ビッグサン防水材に変更したい、と弊社にご相談頂きました。

ご相談頂いた際に、屋上部分ということもあり、ビッグサンRB5工法（補強布入）の工法をご提案しましたが、工期が短い事と配管ビットで配管に異常がない限りは水の掛りが想定されない箇所というご説明を頂き、審議の上で設計者に仕様変更の提案をして頂く事になり、無事採用となりました。

現場では様々な環境や制約があり、そういった状況にもビッグサン防水材は柔軟に対応できる材料です。また、今回ご紹介した事例の様に小学校など、より臭気や環境を配慮する必要のある公共施設におきましてもお役に立てる材料であると考えております。引き続き、ビッグサン防水材を宜しくお願い致します。

## DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F  
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も  
お楽しみに

URL : <https://dainichikasei.jp>

# 映画で学ぶ 環境問題

ウォーターワールド  
原題：Water world



監督：ケヴィン・レイノルズ  
制作：ケビン・コスナー  
出演者：シルヴィア・アール  
ジョン・デヴィス  
チャールズ・ゴードン  
制作国：アメリカ合衆国  
上映：136分  
公開：1995年

映画のストーリー設定は色々ありますが、近未来をテーマにしたものも多々あります。近未来といっても何千年も先の荒廃した世界であったり、核戦争によって世界が破壊された後の世界が舞台になってるものなどがあります。本作品は地球温暖化の影響で北極と南極の氷が溶け、シベリアの永久凍土まで溶けたことから、地球上で大洪水が発生し海水面上昇したことにより陸地が水没してしまっているという世界が舞台となっています。

訪れた海洋都市でテイコン率いる海賊との戦いに巻き込まれるというお話ですが、詳しくはネタバレになるので、U-NEXTなどでご覧いただければと思います。

マリナー演じるのはケビン・コスナー。フィールド・オブ・ドリームスやボディガードで一躍有名になった俳優ですが、その彼がプロデューサーに関わったのが本作品です。公開は1995年で、ご存じない方も多いかもしれません。

ところが、大阪にあるユニバーサルスタジオ・ジャパンのアトラクションにこのウォーターワールドが採用されています。映画は駄作として有

名なのですが、USJのアトラクションに採用されていることから、そんなに悪くはないのでは？とも思えます。

さて、本作品の背景である地球温暖化が進んだことで地表の水が覆ってしまうという想定ですが、実際のところはどのようなのでしょうか？

とある科学者の一論ではありますが、北極は全て氷で出来ています。しかし南極大陸ということからも想像出来ますが、南極は氷の塊ではなく地表が氷で覆われているというものです。

極地にある為に気温がとても低いことから雨が降らず雪になります。それらが積もり積もって氷となっていきますので、南極の氷が溶けても水面上昇にはなら影響は無いと言っているのです。

よく南極の氷が崩れてしまうようなショッキングな映像が流れますが、実際にはその水分が雪となって地表を覆う循環なので恐れるような崩壊では無いという事のようにです。

また北極もグラスに入れた水に浮いている氷が溶けてもグラスからは水があふれません。同じ様に北極の氷が溶けても水位に影響はないと説いています。

しかしながら水位には影響は無くても両極地の氷が溶けるとなると、他への影響は出ることは必須です。

現実味は無いにしろ、なんらかの影響が出て人類存続の危機があるかもしれません。南極の氷に閉じ込められている細菌が溶け出して世界を脅かすという説もあるくらいです。

現在温暖化とは言われていますが、それよりもヒートアイランド現象のほうが悪影響を出していることは否めません。それを緩和出来る方法はいくつもあり、その一つが緑化です。緑化をすることで植物の蒸散作用から少しでも気温を下げる、二酸化炭素を吸収する効果も期待出来ます。



映画のテーマ・内容はフィクションでありエンターテインメントの世界ですが、そこから実際の現在を鑑み、正しい環境意識を持つと言ったことは非常に大切なことだと思えます。

駄作と言われたウォーターワールドですが、ほんとうにこのような未来になる事無いよう、環境に意識を向けるきっかけとなるという意味では、名作では無いでしょう。